

技術士 2次試験に合格して



川本 広基

(かわもと ひろき)

勤務先

北電総合設計株式会社

環境部 環境技術室

〒060-0031 札幌市中央区北1条東3丁目1-1 北電興業ビル

TEL 011-222-4431 FAX 011-222-4426

E-mail h-kawamoto@hokuss.co.jp

■ 専門：建設部門(建設環境)

1. 自己紹介

私は、1991年大阪で生まれ、北海道の大自然に憧れがあったこともあり、大学から北海道に来ました。小さい頃から生き物が好きで、大学では生物学を専攻しました。その後、縁あって北電総合設計株式会社に入社し、発電所や送電線などの建設工事に関わる環境調査、影響評価業務に携わっています。入社当初は、生活環境である騒音・振動や海域の動植物を対象としたモニタリング業務に携わり、現在では、陸域の希少植物、希少猛禽類に関わる調査、コンサルティングを行っており、幅広いフィールドで仕事をさせてもらっています。

2. 受験の動機

技術士という資格は、正直入社するまで知らなかったのですが、上司からの勧めがあったことがきっかけで、建設コンサルタントとして最高峰の資格であり、自身のスキルアップのいい機会であると思い、技術士の受験を決意しました。

社会人2年目の2016年に技術士補を取得し、その後、実務経験を満たした2020年に初めて二次試験を受けました。結果として、4度目の挑戦(2023年)にて合格することができました。

3. 技術士試験について

仕事上、環境系の問題は馴染みがあり、取っつきやすかったのですが、国土強靱化やインフラ整備・維持管理等に関わる知識が乏しかったため、建設部門の一般問題にはかなり苦戦しました。受験1、2年目くらいはほとんど論文が書けず、参考書やインターネット等から引用して、何とか文章を形作っていました。それでも過去問をひたすら書き続け、先輩技術士に論文の添削をしていただくうちに、考え方や知識が蓄積されてきて、3年目くらいにはよう

やく自分の言葉で書けるようになってきました。模擬問題を繰り返すうちに、知識・文章の幅も広がり、4年目では、このテーマだったらこう書こうとか複数のストックを用意して試験に臨むことができ、ようやく筆記試験に合格することができました。

口頭試験では、筆記試験合格発表から口頭試験当日まで1ヶ月ほどしか期間がなく、かなりバタバタの日々でした。業務経験を振り返り、コンピテンシーごとの想定質問に対する答えを絞り出すのに苦労しました。社内や外部で模擬面接を複数回行っていただき、その度に想定Q & Aを何度も何度も書き直し、本番直前まで修正しました。本番では、緊張と不安もありましたが、なんとか模擬試験通りにこなすことができました。試験日から合格発表まで約3ヶ月という間があり、その間、不安と期待でいっぱいでしたが、合格通知を聞いた時は、喜びと安堵感が大きかったです。

4. おわりに

技術士の勉強は、なかなか結果が見えないので、モチベーションを維持することが大変でしたが、先輩技術士の応援もあり、なんとか続けることができました。また、技術士二次試験は、他の試験と違って、自分だけではできない試験であることを痛感しました。論文添削、模擬面接をしていただいた会社の上司をはじめ、先輩技術士の方々に、この場を借りて感謝申し上げたいと思います。

今後は、専門知識だけでなく、コミュニケーション・リーダーシップといったコンピテンシーの向上を図り、総合的なコンサルティング力を培っていきたいと思います。また、技術士会等の活動を通して、幅広い分野での自己研鑽、若手技術者の育成等、技術者として社会に貢献していきたいです。